



2月も第3週目を終え、園内には少しずつ春の気配が感じられるようになりました。卒園と進級の季節です。特に年長児達は、小学校就学への期待に胸を膨らませながらも、慣れ親しんだ園舎や仲間、教師達との別れを思い、どこか複雑な表情を見ることがあります。その姿は、心が大きく育った証でもありますね。嬉しさと寂しさの両方を抱えながら、前に進もうとする白ゆりっ子達… その尊い成長の瞬間を、大切に守っていきたくと思います。



🌸 🌸 🌸 第25期つぼみぐみ修了式のご案内 🌸 🌸 🌸

一年前、ママの手に導かれ、少し不安そうな表情で入会式を迎えたつぼみぐみの子ども達(笑)
初めてのバス登園ではママにしがみつき、涙いっぱいスタートでした。
つぼみハウスでは、子ども達の元気な泣き声に教師達の声はかき消され
あっちへちよロチよロ、こっちへちよロチよロ…
まだ春を迎えたばかりの園内で、教師達は子ども達を追いかけながら汗を流していたことを
昨日のこのように思い出します(笑)
そんな「小さな巨人達」も、この一年でできることがたくさん増え、
得意なことが増え、友達の輪も大きく広がってきました。
パパやママ、教師達から注がれたたくさんの愛情を“栄養”に心も体も大きく成長しています。
今、子ども達の心の中には“自信”という種がしっかりと根を張り、
次の一歩へと踏み出す“意欲の芽”が、顔を出そうとしています。
つぼみぐみの1年間の成長を振り返り、年少クラスへの進級を祝う修了式を下記の通り執り行います。

令和8年3月18日(水) 10:30~12:00

①進級クラスパッチ授与 ②修了証書授与 ③歌の発表 ④スタッフからの挨拶

- *保護者の方は10:15~10:25の間にご来園下さい。
- *園庭を駐車場として開放致しますが数に限りがございます。
- *保護者の方のご列席は「2名」までです。上履きをご持参下さい。

『小さな巨人』達の大切な門出の日です。ご多用なことと存じますが、ご来園下さいますようお願い申し上げます。

毎年恒例の「ちびっ子相撲大会」が近づいて参りました。各クラスから男女それぞれ4名が代表に選ばれ小結・関脇・大関・横綱の称号を胸に本大会に挑みます。現在は、クラス毎に予選会を行い、代表の座を目指して真剣に綱を削っています(笑)

本大会では、トーナメント方式で学年横綱を決定します。土俵の上では毎年、白熱した勝負が繰り広げられ、思わず笑みがこぼれる場面もあれば、悔し涙、感動の涙があふれる場面もあります。

年少児の頃は、勝ち負けに意識のなかった子ども達も、今では勝つ喜び、負けた悔しさをしっかり受け止められるようになってきました。



相撲は単なる力比べではありません。踏ん張る・押す・引く・体勢を保つ…などの動きの中で体の使い方やバランス感覚を養います。

また、相手の友達と向き合うことで、友達との関わり方や相手を思いやる優しさも育まれます。礼に始まり礼に終わる、日本の伝統競技の中で、挑戦する勇氣、最後まで諦めない心、相手への敬意を学ぶ大切な活動です。

勝敗以上に大切なのは「本気でぶつかり合う」経験です。

この真剣勝負の積み重ねが、子ども達の心と体を一回り大きくしてくれると信じています。

💖 💖 💖 「良い子」のその先へ… 女の子の育ちを見つめて 💖 💖 💖

先日の研修会で、子育て経験豊富なベテラン園長先生(女性)から、女の子を持つパパやママの心に残るお話を伺いました。

3歳から5歳の女の子は「手がかからない」「お行儀が良くていい子」だと思いませんか?! この時期の女の子は“我慢する力”が先に育つ傾向にあるそうです。

実際に園長にも二人の子供がおりますが、女の子の子育ては男の子に比べて手がかからなかったように思います。

だからこそ大切なのは「良い子だね」「お利口さんだね」と行動ばかりを褒め過ぎないこと!

静かに待ってられる、順番を守るなどの行動ばかりを評価し続けると「我慢することが正解!」と、心が覚えてしまうそうです。 **大事なのは“行動”より“気持ち”だと先生はおっしゃっていました。**

女の子は“しんどさ”をその場ではなかなか出さないそうです。時間が経ってから急に泣いたり、突然怒り出したり… そんな場面ってありませんか? それは、ワガママではなく、心に溜め込んでいた思いがあふれたサインだそうです。

そんなときパパやママは、解決しようとしたり、正しい答えを伝えようと思いますが、そんなアドバイスの必要はないようですよ。「そうだったんだ!」「伝えてくれてありがとう!」と、子どもにとって安心感を与えるだけで十分なのです。

安心できる場所がある! それだけで、また外の世界で挑戦していけるのです(笑)

子どもは“良い子”であることよりも“自分の気持ちを大切にできる子”に育つことのほうが大事だとその園長先生はおっしゃっていました。その土台を支えてあげるのが、パパとママの大きな役割ですね(笑)

次号では男の子について触れたいと思います。